

3・11を忘れない

福島から未来へ

日時：2017年3月10日 13時～16時

場所：文京区 区民センター

「春日駅」徒歩2分、丸ノ内線・南北線「後楽園駅」徒歩5分

東 京電力福島第一原発事故から6年。帰還促進政策の中で、現行の災害救助法に基づく住宅提供の打ち切りが迫り、原発事故被害者は精神的にも経済的にも追いつめられた状況に置かれています。2016年4月から小売り電力の全面自由化が始まり、私たちは再生可能エネルギーの電力を選べるようになりましたが、国は託送料金への上乘せという形で国民全体から廃炉費用を回収しようとしています。原発事故被害の実相とエネルギー政策の未来をみつめます。

第1部

原発事故の被害の実相



基調講演

つながり合う

被害者と福島の今

武藤類子さん／ひだんれん共同代表

- ◎ 事故後6年：各地で迫られる選択
- ◎ 母子避難を支える父親として
- ◎ 福島の高校生からドイツで学んだ福島の姿
- ◎ 廃炉作業員と福島原発事故の現実
- …なすびさん／被ばく労働を考えるネットワーク
- ◎ 保養の現場から：矢野恵理子／福島ほかプロジェクト

第2部

原発なき未来に向けて



基調講演

どうなる東電？

どうなる私たちのお金？

大島堅一さん／立命館大学教授

- ◎ 原発事故と電力自由化後の日本のあるべきエネルギー政策…吉田明子／FoE Japan
- コメント：福田健治さん／弁護士、福島の子どもたちを守る法律家ネットワーク代表

定員： 300名（先着順）
 申込： ①ウェブサイト（<http://www.foejapan.org/energy/evt/170310.html>）の申し込みフォームから FoE Japan 検索
 ②件名を「3.11を忘れない」とし、お名前、電話番号、メールアドレスを明記の上ファックスまたはメールでお申込みください。
 申し込み先： Fax：03-6909-5986 / メール：finance@foejapan.org
 ※定員の関係から、お申込みがない場合、入場をお断りさせていただく可能性がございますので予めご了承ください
 主催： 国際環境 NGO FoE Japan（認定NPO法人）
 協力： 原子力市民委員会、原発事故被害者団体連絡会（ひだんれん）、「避難の権利」を求める全国避難者の会、避難の協同センター、チェルノブイリ子ども基金、未来の福島子ども基金、eシフト（脱原発とエネルギーシフトを実現する会）、ピースポート
 問い合わせ先： tel: 03-6909-5983（平日・日中） e-mail: info@foejapan.org ウェブサイト：www.foejapan.org

資料代
500円
サポーター・
学生は無料